

人権尊重の精神に基づき、地域とともにうらおいのある教育環境を構成するとともに、心身ともに健康で、知性と感性に富み、生涯を通じ、広く国際社会において信頼を得られる人間性豊かな児童の育成を目指す。

【魅力ある学校】

児童が生き生きと輝く学校 教師が誇りのもてる学校 保護者が信頼する学校 地域が応援したくなる学校

Society5.0の社会をたくましく生きる子どもを育てる 梅田の学び

学習指導要領

- ・グローバル化&人口知能(AI)の飛躍的進化に対応する力の習得
- ・変化に積極的に向き合う力
- ・他者と協働して課題を解決していく力
- ・情報を見極め、習得した知識から、新たな価値につなげる力

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進及び授業力の向上

教育目標

- 明るく元気な子
進んで挨拶し、運動が好きな子
- ◎よく考える子
気付き、多面的・論理的に考え、判断し、表現・行動する子
思考力・判断力・表現力を育む
- ねばり強い子
挫けず、最後までやり遂げる子
- 心のゆたかな子
自他を大切に、思いやりのある子

東京の教育ビジョン(一部)

社会の持続的な発展を牽引する力を伸ばす教育

- 小学校のプログラミング教育の推進
- 社会の変化に対応した実践力あるIT人材の育成

おおた教育ビジョン(一部)

- プラン1: 未来社会を創造的に生きる子どもの育成【未来】「情報活用能力」
- プラン2: 学力の向上【知】
- プラン3: 豊かな心の育成【徳】
- プラン4: 体力の向上と健康の増進【体】
- プラン5: 魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】
- プラン6: 学校・家庭・地域が一体となってとすすめる教育【学校・家庭・地域】

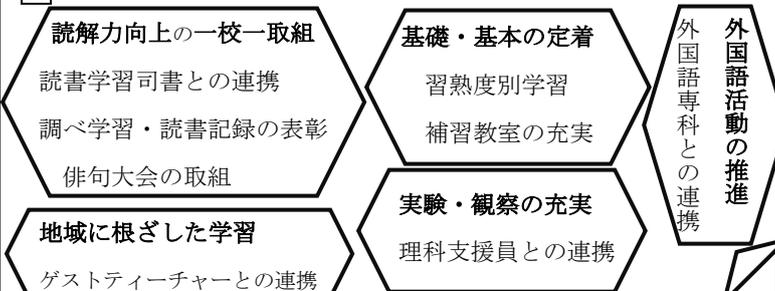
校内研究

令和3・4年度東京都教育委員会情報教育研究校
令和4年度大田区ICT教育推進授業モデル実証校
研究主題「Society5.0に向けた梅田小の教育」
～プログラミング教育における授業デザイン～

- ・プラグド
- ・アンプラグド
- ・情報モラル

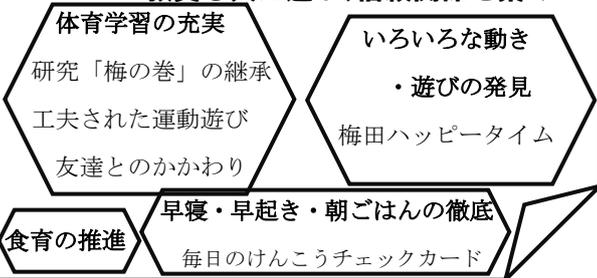
【伸びゆく学力】★“梅田の学び”の充実 学びの自立へ

- うわあ～、大発見! : 自ら課題を見つけることができる子
- めざせ! ○○マスター : めあてに向かってねばり強く努力する子
- だれとでも 伝え合おう! : 習得・習熟したものを伝え合う子



【元気な体】★毎日の欠席、全校で10名以内

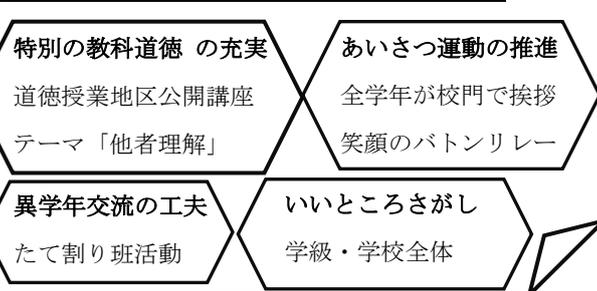
★休み時間の校庭遊び大好きな子
～教員も共に遊び、信頼関係を築く～



【学校・家庭・地域の三位一体の教育】



【豊かな心】いじめ・不登校0の学校へ



【教師が誇りのもてる学校】 自己研鑽に努め、チーム梅田として、互いに助け合い、高め合う教師

- ① 学校運営の重点 安定した学級・学年・専科・サポートルーム経営
学年の担任全員で学年の児童を育てる。常に報告・連絡・相談を忘れない。
 - i) 校長の経営方針に基づいた学級・学年・専科・サポートルーム経営ヒアリング
 - 1 学期：学級・学年・専科・サポートルームの教室づくりの目標と信頼関係の確立方法の説明。
 - 2 学期：学習意欲・各行事への意欲のもたせ方、学年での工夫した取組の説明。
 - 3 学期：児童一人一人の成長の自覚のさせ方、1年間の取組の反省と次年度の方向性の説明。
 - ★個人の自己申告の面接に加え、学年・専科・サポートルームのグループ面接実施
 - ii) 校内OJTの推進により、教師力の向上
 - ・学年主任がリーダーシップを発揮し、若手教員の人材育成を図る。
 - ・学校経営支援部が主任を講師として、学校全体の若手教員研修会を実施し、教師力向上を図る。
 - ・校内研究を活用して、授業づくり、プログラミング教育の指導力向上を図る。
- ② 学習指導の重点 主体的・対話的で深い学び 「思考力・判断力・表現力」の向上
学びの自立を目指し、自ら意欲をもって学習に取り組む児童を育てる。
 - i) 学び方改革：学び方の道筋
課題発見＞自身で課題解決＞対話での意見交流（発表の仕方・発表の聞き方）＞自身の学びに戻る
 - ii) クロームブックを活用しての授業推進。（日常の授業、家庭学習での活用を大いに推進する。）
 - iii) 体育学習の充実（今まで積み上げてきたものの継続・周知）
 - ・授業の流れを共通理解し、高い同質の授業を目指す。実技研修会、用具の説明会等実施
 - iv) 授業観察 テーマをもった授業観察 全教員が研修の場として授業を見合い、授業力向上
 - ・授業前に、授業の略案を全教員に配布。各学年で時間調整をして、授業観察。（ミーティング含む）
 - ・授業後に、意見交流・反省会。「自己評価カード」を提出し、管理職の指導を受ける。
- ③ 生活指導の重点 自覚・自主・自律・自立 自己肯定感の向上
「梅田小学校のしおり」の周知・徹底を図る。今年度一部見直し、改善する。
⇒梅田小学校スタンダードとして、児童・保護者・地域の方々に周知する工夫をする。
梅田小SNSルールを高学年で考え、周知し、スマホ等のトラブル0（ゼロ）を目指す。
- ④ 特別活動の重点 望ましい人間関係の形成 子どもたちの生き方の見守り・励まし
 - ・「キャリア・パスポート」の活用の工夫をする。子どもたちの思いを記録に残す。
 - ・各学級の学級会を活発（対話の推進）にするべく、マニュアルや環境づくりを考えていく。
- ⑤ 研究・研修の重点
校内研究 令和3・4年度東京都教育委員会の研究校 令和4年度大田区 ICT 教育推進授業モデル実証校
 - ・全教員が研究授業者の意識：講師招聘授業以外の学級も授業公開（授業観察とも連携）
 - ・研究協議会が研修会を兼ねる。日々、新しい取組に挑戦。効果的な活用方法を全教員で共通理解
- ⑥ 特別支援教育の重点
発達障害等のある児童が校内支援委員会の実施にもとづき一人一人の特性に応じた指導や支援を受け充実した学校生活を送ることができるよう特別支援教育の視点を踏まえた学校経営の推進を図る。
 - ・校内支援体制の中心となる校内委員会の充実を図ると共に教職員の特別支援教育についての専門性を向上させる。
 - ・アセスメントを効果的に活用し、配慮を要する児童生徒に早い段階から気付き、支援し、つなぐ仕組みを充実させる。

【保護者が信頼する学校】

【地域が応援したくなる学校】

- ① こまめな情報提供 開かれた学校 学校の様子を知っていただき、協働的に児童を育む
 - i) 文書提供：学校・学年・学級便り、ほけん便り、サポートルーム便り、給食室便り、校長発行物、HP
 - ii) 参観等：学校公開、研究授業、保護者会、各学校行事等（運動会・学芸会等）
 - iii) 関係者会議等：地域教育連絡協議会、PTA実行委員会（ダディ's 含む）、馬込青少対連絡協議会等
- ② 連携して共に取り組む 学校支援地域本部「スクールサポート うめだ」との連携による学校の活性化